日本中央アジア学会研究ワークショップ プログラム

■概要

日程：2011 年 6 月 4 日（土）～ 6 月 5 日（日）
会場：東京大学本郷キャンパス

■プログラム

6 月 4 日（土）

＜午後の部＞

河原弥生（人間文化研究機構地域研究推進センター研究員）
「ムハンマド・ハキーム・ハーンとその著作『選史』について」

登利谷正人（上智大学大学院博士後期課程）
「「アフガニスタン近代史」の成立過程」

中嶌哲平（北海道大学大学院博士後期課程、日本学術振興会特別研究員（DC1））
「帝政ロシア治下バクーにおける活字メディア
――第一次世界大戦期『明瞭な言葉』*Açıq Söz* 紙分析に向けて――」

3 月 29 日（月）

＜午前の部＞

立花優（北海道大学大学院博士後期課程、日本学術振興会特別研究員（DC2））
「2010 年アゼルバイジャン国民議会選挙分析

稲垣文昭（慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員（訪問））
「中央アジアの電力インフラ
――中央アジア電力システム（CAPS）をめぐる国際関係――」

＜午後の部＞

木谷舞里（慶應義塾大学大学院修士課程）
「キョルオール叙事詩における人物類型の試み
――研究動向の整理とともに――」

櫻間瑛（北海道大学大学院博士後期課程）
「間違った正教徒か？土着信仰の正しい継承者か？
――クリャシェンにおける祈願儀礼と自己認識――」

須田 将（北海道大学大学院博士後期課程）
「戦前ソスターリン期ウズベキスタンの民族政策再考
――ウズベク共和国ソヴィエト中央執行委員会フォンドの史料から――」